

我が国の貨幣制度 (Ⅱ)

通貨一千二百五十年図鑑より>

7期生活 伊藤晴義

前号までの概要

- ・我国で一定の形式を備えた最初の貨幣は、和同元年（705）に铸造された「和同開珎」である。
- ・和同銭は中国の銭に倣った。養老4年（720）頃には、中国人を招聘して铸造した。

② 通用価値

和同銭創铸の翌二年四文以上の取引きは銀銭を用い、三文以下の取引きには銅銭を用うべしとの詔勅が下された。よって銀銭一文は同三年その通用が禁止せられるまで銅銭四文の割合で通用していたことが確かめられる。その後、元正天皇養老五年（721）銀銭一を持って銅銭25に、又銀一兩を以て銭100に当べき旨の勅が下され、ここに再び銀銭が使用されるにいたり、同6年更に銭200を以て銀一兩に当てられたのである。このようにして和同銀銭は铸造僅か二年にして廃止された。その後は銅銭のみを铸造された結果銅銭が暫次その数を増加してきたのは当然であって、ここに銀及び銅の通用比率を公示する必要が起こった。

③ 畜銭叙位令

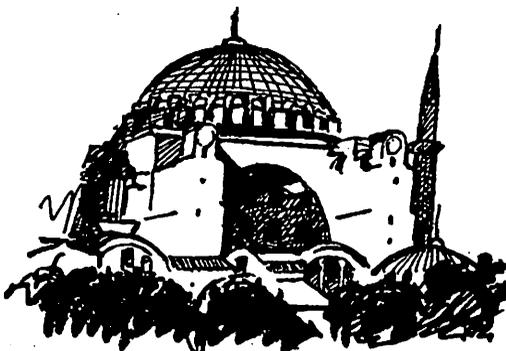
奈良朝政府は貨幣流通政策として、銭を蓄えたものに位階を授けたり、納税に銭を用いることを奨励したり、旅人に銭を携帯させて、その使い方を教えた。

畜銭叙位令は、和銅四年十月甲子条として発令され、続日本紀には次のように記されてある。

「詔して曰く、夫れ銭の用たる財を通じて有無を交易する所以なり。当今百姓尚習俗に迷って未だその理を解せず、僅かに売買すといえども尚銭を蓄うる者なし。「畜銭ある者の位を進む」その多少にしたがって位を授けん。

其従六位以下畜銭一十貫以上あらん者には位一階を進めて叙す。二十貫以上は二階を進めて叙す。初位以下五貫あるごとに一階を進めて叙す。大初位上若しくは初位進んで従八位下に入らば一十貫を以て入限となせ。其五位以上及び正六位一十貫以上有らん者は臨時に勅を聴け。」

以下略（続日本紀）



港務艇『ポートオブナゴヤ』乗船記

8期生活 加藤 美智子

秋晴れの11月5日、名古屋港管理組合所属の港務艇『ポートオブナゴヤ』の乗船見学会が実施され、参加は男性17名、女性12名の計29名であった。集合先の地下鉄名古屋港駅まで、管理組合技術管理課長の粟田益生氏が出迎えてくださり、乗船場へと向かったが、途中の歩道橋が、直線のものとしては市内で最長のものと同じ、改めて港域の広さを実感した。

『ポートオブナゴヤ』は開港70周年記念船として就航し、高松宮、ベルギー国王も乗船されたが、間もなく90周年記念船に途を譲る予定とのこと。

船内では、管理組合広報課の小川伸一氏から、港湾施設を細かく説明頂いたが、軽妙洒脱な話術に楽しく和やかな時を過ごせた。

当日は、暖かな気温に霏が出て、鈴鹿の山並は望めなかったものの、長島のホワイトサイクロンもかすかに望見でき、大型船もいつになく多い接岸とか、幸運な一日であった。大型コンテナをガントリークレーンという重機で、迅速に荷捌きする様子は、物流の先端の観があり、船上からの見学ならではのダイゴ味で、90分があっという間に過ぎた。

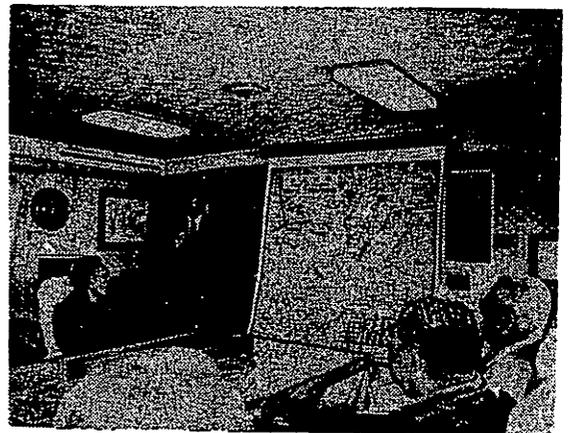
因に排水量は111.13t、定員はデッキを含め44名で、港務艇の名に相応しく、俊敏な中に緩急・小回り等柔軟性に富む船と実感した。

次いでポートビル4階に移り、開港90周年記念特別展を、名港文化センター事務局長村田正昭氏の案内で、盛り沢山の展示品や資料を見学した。

昼食は、管理組合ビル内で職員の皆さんとカレーライスを頂き、1時少し前に解散した。

港務艇という性格上、一般では乗船できないところを、鯨城OBとしてご高配に預かり、貴重な体験ができ、大満足の日であった。

ご多忙の中、お世話くださった名港管理組合御三方に改めてお礼申し上げます。有難うございました。



船内で港湾施設の話聞く

歩こう会

太閤ゆかりの史跡中村公園

10期園芸 飯田和子

地下鉄「中村公園」を地上に出ると、朱塗りの大鳥居がそびえている。高さは24mもあるそうです。建設当時、京都の平安神宮と並び、日本一の高さを誇っていたそうです。

昭和5年太閤誕生日1月1日に盛大な竣工式が行なわれ、60年がたちました。老朽化が目立ち、化粧直しをすることとなり、すべて寄付金に頼り、平成5年8月31日再び艶やかな姿を出現したのです。

参道を歩くこと5分豊国神社に到着、すぐ隣には豊公誕生地と言われる竹藪があります。秀吉の幼かった頃をしのびながら日吉丸ブロンズ像を横目に見ながら妙行寺に参詣しました。

妙行寺は加藤清正生誕の地といわれ、清正が名古屋城築城の普請工事を請け負った



豊臣秀吉 木造

際に出た城の余材で、寺の再建をしたと言われている。

すぐ右となりは常泉寺です。秀吉が産湯を使った井戸、お手植えの柗等があります。

太閤池を巡り「秀吉・清正記念館」につきます。「検地基準尺」「馬蘭後立兜」「蛇目長烏帽子形兜」「天正大判」「自筆の辞世和歌詠草」など貴重な資料を目にし、又の日に訪れたいと話しながら総勢16名は10月15日に完歩いたしました。

長久手古戦場巡り

平成9年9月17日

台風19号の影響で、警報は解除されてはいたが、朝のうちは雨交じりの風もあったが、歩き会は予定通り実施された。

9時地下鉄藤が丘駅に集合、バスで郷土資料室に入る。天候の関係もあり参加者は10名たらずであったが、長久手町郷土史研究会の方々がすでにお集まりで、私たちを迎えてくれました。

『なぜ、この地が戦いの舞台になったのか?』というテーマで1時間近く熱心にお話をしていただいた。

その後2キロほど北の、家康軍が決戦前の軍議を開いた色金山歴史公園まで歩きそこで解散した。さすがに研究会の方々の話は内容があり参加者一同満足して帰路についた。

港務艇に乗船して

4期文化 橋本博行

11月5日(水)は、栗田会長のご尽力により、はからずも港務艇に乗せていただき、貴重な体験を味わいさせてもらい、有り難うございました。

この艇は来賓来客用のもので、かつてベルギー国王もご利用になり、同国の「アントワープ」港と名古屋港との友港関係を結ばれました。

艇内において名港管理局職員の堂に入った説明に皆が緊張しました。1時間半が束の間に過ぎた感じでした。

湾内に入ると、初めに目に入るのは三大橋です。これは「トリトン」と呼ばれ、海の神様の称号だそうです。中央の三角筒型は「ポートアイランド」と呼ばれ、海上航路のロータリーの役割をし、防波堤の東と西には「モニターカメラ」が設置され、管理局にて居ながらにして船舶の出入りを監視しています。

西4区のコンテナ棧橋に接岸していた船は8万4千トン級で、50M以上の長さがあり、3機の「ウインチ」で荷役作業中でした。常滑沖の新空港の設置予定場所はかすんで見えませんでした。

検疫区域には、荷揚げ待ちの船舶が20隻ほど碇泊中でした。この付近は、よく釣

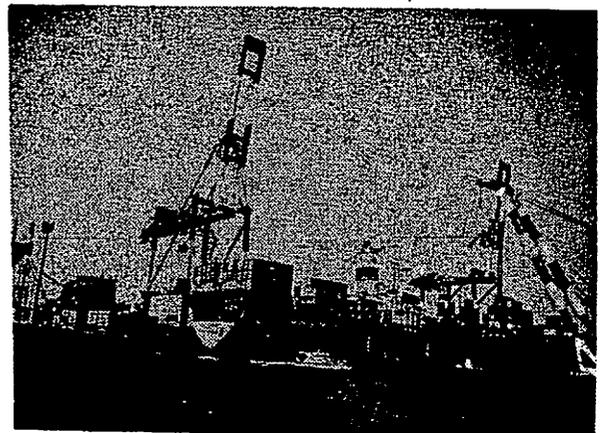
り船で内田橋より、「豎」「横」と場所を変えて、黒鯛の夜釣りをしたものです。現在では昔の面影は全然ありません。防波堤もコンクリートで固められています。

湾内での碇泊料金は、船舶のトン数によって異なり、大型船となると1千万円は普通だそうです。湾内の設備費には欠かせない収入源にもなっています。

アメリカの港では大型船から出る「二酸化炭素CO₂」が規定以上であると入港許可が下りないそうです。我国では近頃になって騒がしくなったばかりなのに……

日本は天然資源に乏しく、加工品工場国です。輸出入も年毎に増加すると思います。運搬には、安い船舶を利用すべきです。

「ポートオブナゴヤ」名古屋市ばかりでなく、中部七県の国際的に大きな玄関として、今後ますます活躍されんことを期待して止みません。



ガントリークレーンが立ち並ぶコンテナミナル

自衛隊守山駐屯地見学記

9期文化 小島 悟

10月8日(水)第2回研修会は自衛隊第10師団守山駐屯地の見学である。

10時正門の衛兵詰所前で、師団司令部広報担当の名越2等陸尉・丸田准尉両氏の出迎えを受け、司令部の建物の中にはいる。ここで概況の説明を受けた。

守山駐屯地は明治33年以降終戦まで、日本陸軍の歩兵・騎兵・野砲の連隊本部として、重要な役割を担っていたところである。

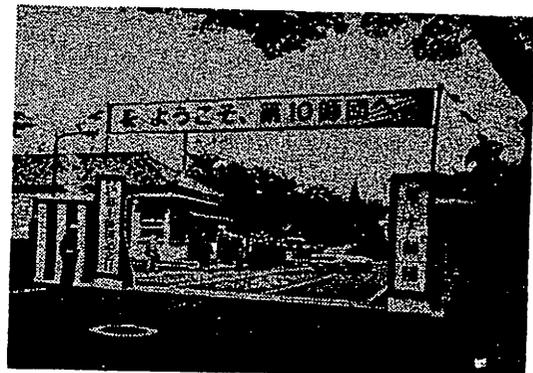
終戦後は進駐軍が駐屯地として使用していたが、昭和32年米軍の撤収の後をうけ、守山駐屯地が創立されたのである。

現在女性自衛官80名余りを含んで大勢の隊員が勤務しているが、特に東海北陸6県に対する災害警備などの中枢駐屯地になっている。青春時代を旧軍で経験した会員にとっては、懐かしい話であったようで、盛んに質問をしていた。わたしたちも阪神地方の被災地での活躍、日本海沿岸での重油流失の際の活躍など教え上げればきりがなほどの努力を思い浮かべながら、担当官の説明に聞き入っていた。

概況説明のあと隊内の施設・装備等の見学をした。ちょうど3日前の日曜日に、師団創立記念行事が行なわれたようで、あちこちの広場に、通常は駐留していない重装

備の車両が並べられていた。なにか戦争を思い浮かべる風景であった。そんな中で、災害派遣時に必要な、さまざまな器具を積み込んだ車両を見た。本年度購入したものだそうで、瓦礫の下に取り残されている被災者を探す道具、倒れた柱を切断するチェーンソー、ジャッキ等さまざまな器具を積み込んだ真新しい車であった。また段ボールで作られた簡易トイレもあった。阪神災害の救護活動のおり、大変苦勞した経験が活かされて考え出された器具であるとか。説明によると、都道府県知事の要請により出動する災害派遣は、年間700件を超えるそうである。

施設や装備の見学後、隊員食堂で昼食の試食をした。食堂は外部委託でなく定期的に隊員が交代で担当するそうである。若い隊員が多いこともあり、食事には十分配慮がされているようである。



グランドゴルフ

1997年 グランドゴルフ成績(9月~12月)

| 月日 | 参加人員 | ベストスコア | ホールインワン |
|-------|------|----------------|---------------------------------------|
| 9/3 | 19 | 人見 春江 25/21=46 | 人見 春江 |
| 9/24 | 15 | 服部 賢次 13/25=38 | 服部 賢次 (3回) |
| 10/1 | 12 | 栗田 龍彦 23/23=46 | 栗田 龍彦 伊藤 弘 長戸 俊郎 |
| 10/22 | 16 | 今井孝四郎 21/23=44 | 今井孝四郎 松浦 顕 伊藤 晴義 |
| 10/29 | 17 | 伊藤 晴義 22/23=45 | 伊藤 晴義 栗田 龍彦 小島 悟 |
| 11/19 | 16 | 山本きぬ子 24/22=46 | 伊藤 秀雄 (2回) 沢木東秀 山本きぬ子 片岡五郎 小島 悟 |
| 12/3 | 19 | 伊藤 晴義 24/18=42 | 伊藤 晴義 飯田 和子 長戸 俊郎 |
| 12/10 | 18 | 長戸 俊郎 23/22=45 | なし |

平成10年3月に平成9年度の昭和鯉城会グランドゴルフ大会を予定しています。ふるってご参加ください。

俳句

2期文化 鬼頭秀三 (第6回)

家につき灯をつけまわる寒一人

山焼きやもう直らざる老いの気性

穂祭(ほわた) 飛ぶ海亀の子まっしぐら

この頃はでで虫の歩につまされつ

言いひぞれ帰る拳や虎落笛

教室に手をあげる声みかん山

餌場にて一っ時極楽寒雀

春暁やきのう求めし軽い靴

うららけし仏仏の法隆寺

風光る出船のドラの影濃きも



いよいよ今年もあとわずかになりました。皆さんにとって今年の1年は如何だったでしょうか。グランドゴルフに歩き会・研修会、更に今年は区民祭りや福祉祭りへの積極的な参加など、昭和鯨城会にとっても実り多い年だった気がします。どうぞ良いお年をお迎えください。

役員 一同